



キラリ☆輝く

# おとも

っ子

遠野市立小友小学校 校報 第15号  
令和5年10月24日(火)発行

☆教育目標☆

進んで学びよく考える子ども  
明るく思いやりのある子ども  
健康でねばり強い子ども

## 気持ちをひとつに 40周年記念学習発表会

10月14日(土)、「気持ちをひとつに みんな輝け 小友っ子」のスローガンのもと、学習発表会が開催されました。昭和58年から数えて40周年記念となる学習発表会を、改修して2年目のきれいな体育館を会場に、感染症関係の制限がない形で、ご来賓の方々をはじめ多くの皆様をお招きして開催でき、大変嬉しく、ありがたく思いました。

工夫された1・2年生の「開会のことば」に始まり、児童会長の高成沙弥(さや)さんの堂々たる挨拶の次、全校合唱「小友の話っこ聞きたいな」「チャレンジ!」の歌声は、体育館に美しく大きく響きました。全校表現 壹の巻「温故知新～昭和から令和までの学びを繋ぐ～」では、子ども語り部で見事に暗記して表現したり、聞く人に届くように音読をしたり、全校よびかけや校歌で会場が一つになったりと、40周年記念ならではの発表となりました。高成和美(かずみ)PTA会長挨拶では、前半の発表について、たくさん褒めていただきました。次の全校表現 貳の巻、今年38年目を迎えた「小友の話っこ聞きたいな(全校表現)」において、1・2年生は「雪の踊り・カップ」、3・4年生は「黄金の牛」、5・6年生は「金と米」を演じました。1・2年生は、粉雪が舞う様子の踊りやいたずらガッパの話をゆったりと、あるいは元気よく演じました。3・4年生は、地中から金の牛を引っ張る様子やウソトキと母親の愛情に満ちたやりとりを言葉や体全体で表現できました。5・6年生は、金森長者と江刺の殿様の金と米をめぐる戦いを皆で協力して力強く演じていました。「スライドショー」では子ども達の笑顔や「40」の人文字。「しし踊り」は、今年から3年生以上が踊ることとしたところ、話っこのフィナーレを見事に飾る見ごたえのあるものになったと思います。閉会の言葉は6年生5名全員で、立派に締めくくりました。

取り組みを通して、子どもたちは、伝統を受け継ぐ、一人一人が輝ける発表ができました。今年も、しし踊りをご指導いただきました長野しし踊り保存会の皆様、大変ありがとうございました。子どもたちのがんばりと、保護者及び地域の皆様の見守りや励ましに心より感謝いたします。





## 学校運営協議会(コミュニティスクール)小友小部会②

40周年学習発表会の日、今年度2回目のCS(コミュニティスクール)小友小学校部会を行いました。これまでの部会委員の小松大成(たいせい)さん〔部会長〕、高成和美(かずみ)さん〔副部会長〕、菊池智子(ともこ)さん、浅沼幸孝(ゆきたか)さん、阿部信代(みちよ)さん、菊池忠信(ただのぶ)さんに加え、遠野市議会議員の千田由美子(ゆみこ)さんと、小友地区センター所長の富松浩昭(ひろあき)さんに新委員として入っていただきました。皆さんから学習発表会の感想をお話いただき、「一人一人が先生や保護者から大切にされていることが伝わった。子どもたちの姿が輝いていた。」「一人が何役もしていて頑張っている様子が伝わってきた。」「長野しし踊りのように地域の方の協力も手厚くすごい。」「この発表会は他の学校の先生にも見てもらいたい。」など、たくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。

☆この校報は小友町地域教育協議会のご協力を得て地域の皆様に配付させていただいております。